

令和2年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	2	氏名	若 林 志津子 議員	1 / 1
発言項目		要 旨				答弁者
1	休業期間中の小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策と保護者、児童生徒、学校給食への対応について	<p>(1) 2月27日に新型コロナ対策として安倍首相が科学的根拠、影響による対策、補償内容も示さず、専門家の意見を聞くことなく小・中学校及び高等学校等の休業要請を発表した。市でもそれを受け、小・中学校を一斉休業とした。休業中の対応について伺う。</p> <p>① 一時預かりなど、この期間の対応で困ったことは。人数が多かった学校と少人数の学校別に。</p> <p>② 保護者からの苦情、意見、要望はどのようなものがあったのか。</p> <p>③ 休業を行った教員の意見・要望はどのようか。</p> <p>(2) 一時預かりを申請しなかった児童に対して、どのような対応をしたのか。</p> <p>(3) 休業中の学校給食の対応について、納入業者、調理員、配送員への補償はどのようにしたのか。</p>				市長 教育長 関係部長
2	ネット学習、オンライン授業の活用について	<p>(1) 全国では休業期間中に児童生徒の学習対策として、いろいろな取組がされた。市ではネット学習を紹介し実施したが、教員や児童生徒の受け止め方や意見・要望について伺う。</p> <p>(2) オンライン授業についての導入予定など見解を伺う。不登校の児童生徒がオンライン授業を経験し、積極的に取り組み、教員とのコミュニケーションがとれた等の報道がされている。学校休業中の対策として、また不登校生徒の学習を保証することでも有効な手段となり得るのでは。</p>				市長 教育長 関係部長
3	今回の新型コロナウイルス感染症により今後の教育環境をどのようにしていくのか	<p>(1) 日本小児科学会は5月下旬に「小児の新型コロナウイルス感染症に関する医学的知見の現状」をまとめ、休業による流行阻止効果は少ないとし、子どもに与える影響ではデメリットが大きいとしている。今後の第2波、第3波が仮に市内で発生した場合の対応について。</p> <p>① 市内の小児科医師の意見を聞く場を設けて休業の判断をしてはどうか。</p> <p>② 今後暑くなる中で児童生徒のマスク着用についての考え方は。</p> <p>③ エアコンの温度設定、使用基準はどうなっているのか。</p> <p>(2) 新型コロナ対策は人との接触を避けるために3密を避けることと国民全体で生活を見直しながら行ってきた。しかし物理的にできない場合が出てくることも確かなこと。日本共産党は1クラスの人数を20人とし、退職教員などの協力を得て教員を全国で10万人増やすことを提案している。提案に対する見解を伺う。</p> <p>① 1クラス20人にした場合、教室及び教員はどのくらい必要なのか。</p> <p>② 提案についての見解は。</p>				市長 教育長 関係部長